

週間漁海況情報—第23号

平成23年6月6日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.6.6)を示した。

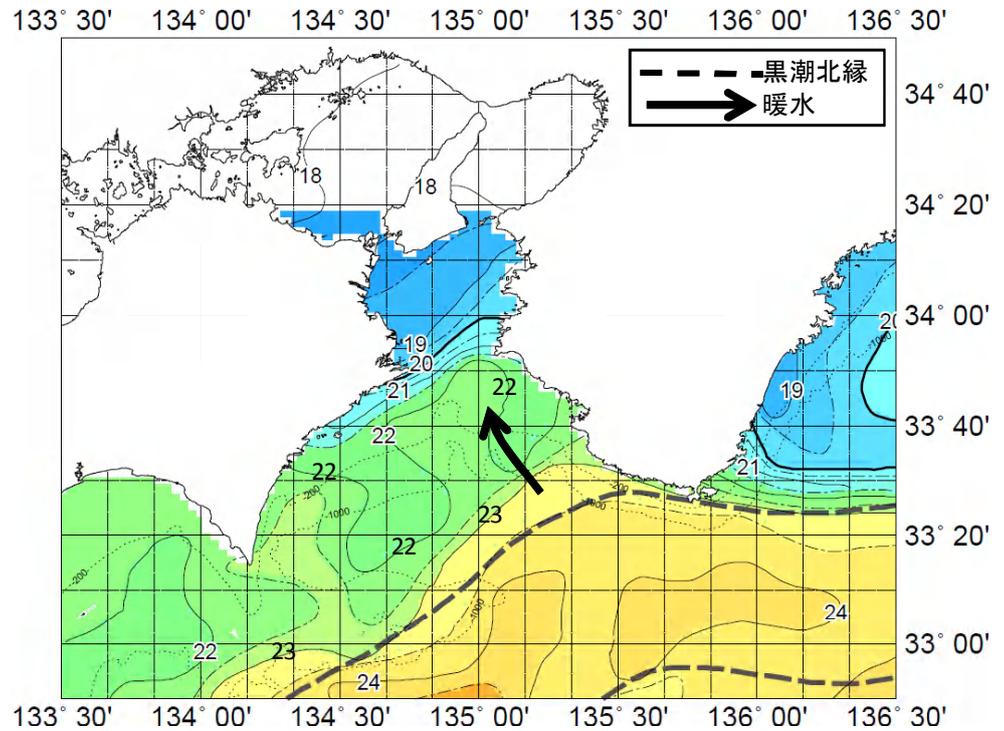
土佐湾沖を冷水塊が東進しており、その先端が室戸岬沖にかかっている。このため、黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖でかなり離岸している。

黒潮本流の表面水温は、22～24℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で17～18℃台、紀伊水道で17～21℃台、海部沿岸で19～22℃台である。

海部沿岸では下り潮になっており、上灘は21℃以下の内海系水に覆われている。和歌山県に沿って暖水流入がみられ、その先端は和歌山県日ノ御崎まで達している。

漁業調査船「とくしま」が6月3日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～10m層で「やや低め」の17.0～17.8℃で、20～30m層で「平年並み」の16.0～16.8℃であった。



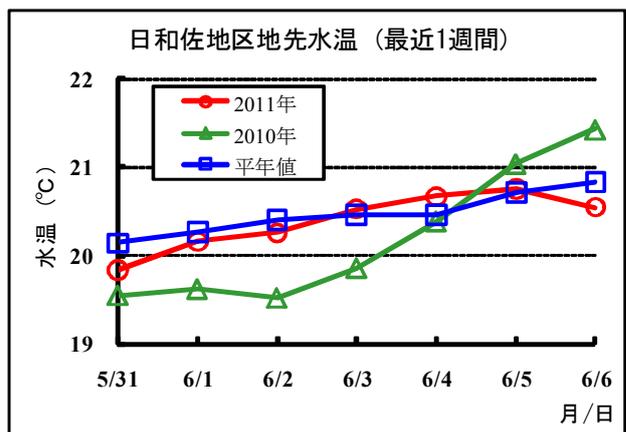
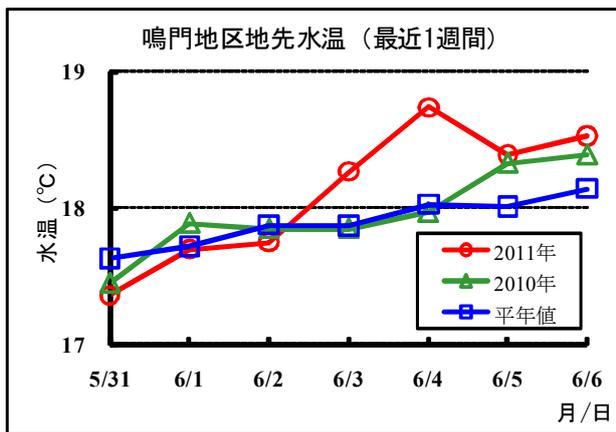
播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
6/3	今年値	17.8	17.0	16.8	16.0	32.0	32.3	32.4	32.7
	平年偏差	-1.2	-0.6	-0.1	0.0	-0.1	0.1	0.1	0.3
	前年偏差	0.1	0.1	0.2	-0.1	0.5	0.5	0.5	0.7

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の17.4～18.7℃、日和佐地区で「平年並み」の19.8～20.8℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の20.6～22.3℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、カサゴが0.3トン（1日1隻当たり13kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが4.1トン（同107kg）、小小主体にサバ類が1.3トン（同39kg）、シイラが0.4トン（同36kg）、小小主体にマアジが13.1トン（同353kg）、マイワシが0.6トン（同27kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にマアジが0.2トン（同8kg）、海部沖合いで特大主体にカツオが1.2トン（同409kg）、中主体にキハダが0.7トン（同249kg）、大・小主体にシイラが0.4トン（同146kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが3.8トン（同63kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 5月30日～6月5日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カサゴ	26	334	13	
小型定置網		カタクチイワシ	38	4,079	107	
		サバ類	34	1,333	39	小小主体
		シイラ	12	437	36	
		マアジ	37	13,076	353	小小主体
		マイワシ	21	577	27	
		釣り	海部沖合	マアジ	27	220
パッチ網	カツオ	3		1,227	409	特大主体
	キハダ	3		746	249	中主体
	シイラ	3		438	146	大・小主体
		シラス	60	3,750	63	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の18℃台、日和佐地先は「平年並み」の20～21℃台で推移する見込み。

特異現象：本県沿岸でアカクラゲ及びミズクラゲが多く出現している。